

チャレンジ！ ごみの減量化

日々の生活を営む上で、ごみを減らすことは重要です。また、正しい分別や出し方、リサイクルの取り組みも大切です。

夏の可燃ごみが減量化の鍵

東金市外三市町環境クリーンセンターへ搬入されているごみの約9割が、可燃ごみです。

また、夏の生ごみは水分が多く占めます。水分を多く含んだごみは、焼却の際に余分な経費が必要となりますので、十分な水きりを心掛けましょう。

ごみの出し方に注意

ごみは種類や素材によって、出し方が違います。詳しくは、ごみ収集カレンダーをご覧ください。

また、ごみは当日の朝8時までに集積所に出しましょう。

リサイクル回収倉庫の利用を

新聞紙や雑誌等を可燃ごみとして出している方が見受けられます。

できるだけ地域の集団回収やリサイクル回収倉庫を利用しましょう。

リサイクル回収倉庫に置くもの：新聞紙、雑誌、ダンボール、衣類、飲料用紙パック

悪質商法にだまされなさい！ 消費生活苦情相談

町の消費生活苦情相談には、訪問販売等による相談が多く寄せられています。一人ではすぐに契約せずに、家族等に必ず相談しましょう。

(例)悪質なりフォーム工事

雨どいの清掃や排水管の清掃といった、販売目的を隠して近づき、すぐに工事をしないと危険であるなどと不安をあおり高額な契約を急がせる(販売商品：屋根工事、床下

換気扇、除湿剤など。

(例)点検商法

役場からの点検であると言いつつ、販売商品：浄水器、消火器、分電盤工事など。

(例)催眠商法

空き店舗等に人を集めて、「今日だけ」、「ここだけ」と割安感を強調して、高額な商品売りつける。

クーリング・オフをご存じですか
訪問販売で契約した場合

資源を大切に

リサイクル回収倉庫に集められたごみは、資源として活用されます。新聞や雑誌などの古紙は、紙製品などに再生され、服などの古繊維は工業用ぞうきんなどに再生されます。限りある資源を大切にしましょう。

生活環境課環境対策班

☎(70)0386

は、一定期間であれば無条件で解除できるクーリング・オフの制度があります。

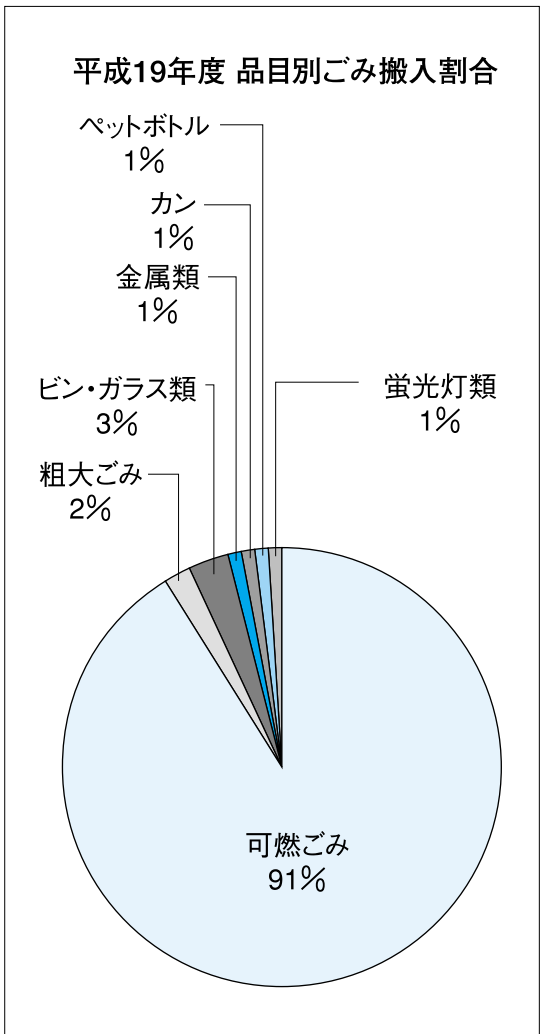
クーリング・オフは、契約書面を受取った日から8日以内(いわゆるマルチ商法・内職商法は20日間以内)に書面で通知する必要があります。住民課コミュニティ推進班でもこの相談に応じています。

消費生活苦情相談

架空請求詐欺や振り込め詐欺など消費生活について、相談を受け付けています。気軽に相談ください。

日時：第2・4(水)10時～15時
会場：中央公民館

☎(70)0342
住民課コミュニティ推進班



人権擁護委員に 内山峰子氏が再任

人権擁護委員は法務大臣の委嘱を受け、人々の間に正しい人権の考え方を広めたり、人権が侵害された場合には、相談相手になって救済したりするなどさまざまな場面で活動しています。

人権相談

本町では、内山氏のほかにも5人の委員が活躍中です。

相談日時：第3(水)10時～15時
会場：中央公民館

☎(70)0342
住民課コミュニティ推進班

観光地曳き網

町観光協会と町海の家連絡協議会による観光地曳き網を開催します。誰でも自由に参加できますので、濡れても良い服装でお越しください。

▶日時 = 8月2日(土)・9日(土)・23日(土) 9時30分～

荒天や波の状況により中止
▶会場 = 白里中央海水浴場南側駐車場前 駐車場は有料ですが、町内在住の方が利用する場合は、運転免許証の提示で、無料となります

▶参加費 = 無料
町観光協会・町海の家連絡協議会 (産業振興課内) ☎(70)0356

安心・安全

コーナー 11

空き巣・忍び込みにご用心

東金警察署管内では、空き巣や忍び込みが多発しています。防犯対策をしっかりとし、侵入者をシャットアウトしましょう。

防犯対策のポイント

- ・外出する時は必ず鍵をかける
- ・補助鍵を取り付ける
- ・窓ガラスに防犯フィルムを貼る
- ・窓にセンサーアラームを取り付ける
- ・センサーライトを設置する
- ・防犯カメラを設置する



東金警察署 ☎(54)0110



歯科衛生士 だより

歯っぴーライフ

77

良い歯のコンクール山武都市代表に 武田幸子さん・悠希くん親子が選ばれました!

平成20年度親と子の良い歯のコンクールの本町代表、武田さん親子が山武都市審査会で、山武都市代表に選ばれました。

親と子の良い歯のコンクールは、3歳児健康診査受診者の中で、歯の健康に優れている親子を選出するコンクール。本町での昨年度の3歳児健康診査受診者345人のうち、ムシ歯の無い子どもは260人で、そのうち歯の健康が優れている親子は8組でした。

今回は、その武田さんが審査会へ出場するために書かれた作文をご紹介します。

子どもが生まれてから、ムシ歯の菌が口移りで感染するところか聞いて、夫と「3歳までは親のはして食べさせるのはやめよう」と決めて守ってきました。食の細い子だったので、家の中におやつはほとんどありませんでした。周囲のお友達が、お母さんからアメなどをもらっている姿を見れば欲しがり、私もかわいそうだな...と思う事が幾度もありましたが、「ないものはない」ので、我慢させてしまいました。

たまに貰えるアメをものすごく喜ぶので、逆にふびんに感じる事もありました。おやつがないぶん、夕食は17時頃と早く、お姉ちゃんは「日の出と共に目覚め、日の入りと共に寝る」ような生活でした。それに

悠希も強引に合わせられて、比較的規則正しい生活になっています。歯磨きは夜1回ですが、ヨダレが飛び散っても構わない風呂場で派手に磨いています。ハブラシも月に1本交換しないとボロボロです。仕上げ磨きは、正直ほとんどしていません。

私自身はムシ歯で苦労した記憶がなく、乳歯時代も近所のお友達の家遊びに行くと、そこのお父さん(歯医者)にチェックをしていただき、褒められたことを懐かしく思い出します。1年半前くらいに夫に「口が臭い」と言われました。ショックで娘の噛みあわせで受診した歯科医に定期健診のつもりで診ていただきました。そこで、「嚙合性外傷の疑い」と診断され、歯を支える骨を守るためのマウスピースを着け始めました。音波ハブラシも良いと聞いたので使い始め、フロスもたまに使っています。今も2・3か月毎に調整とクリーニングをお願いしています。

丈夫な歯に産んでくれた両親と、歯槽膿漏の原因を見つけくださった歯科医と、そのキッカケを作って通院させてくれている夫に感謝し、このまま歯で苦労しない人生を送れるよう、定期的に健診を受けていきたいと思っています。



武田幸子さん 悠希くん

健康介護課健康指導班 ☎(72)8321